

## グループワーク時のリーダーシップに関する会話分析的考察

—介入のきっかけと発言の促しに注目して—

○ 岩手県立大学 泉 啓 (009163)

キーワード3つ: グループワーク リーダーシップ 会話分析

### 1. 研究目的

医学や看護学、法学、教育学等の分野では、会話分析(Conversation Analysis)やその応用であるビデオ・エスノグラフィーを取り入れた臨床的取り組みが増加しつつある(檜田他編 2018, 米田 2013 等)。1960年代にH.サックス、E.シェグロフら社会学者によって生み出された会話分析の意義については、スポーツアスリートの動作研究における「スローモーション写真」発明になぞらえて説明されることがある(Antaki, 2011, p. 2)。スローモーション写真がアスリートの動作規則を細切れにして可視化するように、会話分析は順番交代を伴って行われる人々の会話進行過程を詳細に明らかにするのである。

本報告はグループワーク演習科目の参加者が、どのように授業内の学生間の会話中に発言の機会を獲得しているかを明らかにするものである。当授業では、グループワークにおけるリーダーシップについて学習しているが、しばしばリーダー役を務めた学生から、メンバー間の話し合いにリーダーとして、いつ、どのように介入すれば良いか迷ったという意見が聞かれる。この疑問に応じるため、実際にリーダーやコリーダー役がグループワーク時にいかに発言し、かつ発言を促しているかを調査し、学習深化の一助とする。

### 2. 研究の視点および方法

2020年度に実施された1年生の演習科目(授業概要は当日説明するが、主にグループワークの技能に焦点をあてている)では、リーダーなしの条件での話し合い(テーマに基づく10分間のセッション)、及びリーダー役の進行に基づく話し合い(5分間)に受講生に参加してもらった。セッションはビデオ録画し、受講生全員での振り返りの際に使用している。授業後半回に設定されたリーダー役の進行に基づくセッションでは、ランダムに決められたリーダー役1名とコリーダー役2人からなるリーダーチームが、6名程のメンバーに対して話し合いを進めるという課題に取り組んでもらった。

このうちリーダーありのセッションの録画データについて、報告者はリーダー及びコリーダーが発言している箇所を中心に逐語録を作成した。リーダー、コリーダーの発言回数がどの程度存在するかを数え上げるとともに、(1)リーダー、コリーダーの発言の際には、その直前でどのようなきっかけが見出しうるか、さらに(2)リーダー、コリーダーは誰

を次の発言者として指名しているか、という二点に特に焦点を置き、分析を行うこととした。特に今回の報告では、リーダーありのセッション初回のデータを取り上げ、1年生受講者が陥りやすい問題と、受講生自らが実行していた解決方法について考察する。

### 3. 倫理的配慮

本研究は「日本社会福祉学会倫理綱領」に則り、課題に取り組む。演習授業の受講生には録画データを授業時の教育目的以外にも研究の目的で使用することを説明した上で、研究の目的を伝えた。また研究目的以外に使用しないこと、研究への協力は学生の任意であり、研究協力しないことでの不利益は生じないことを書面と口頭で説明した。また研究の事例として取り上げる受講生に対しては、匿名性の確保、結果公表の方法等について説明し、改めて調査協力を仰ぎ、書面にて同意を得ている。

### 4. 研究結果

各リーダーチームの発言回数には差が見られるが、リーダーによる次発言者の指名先に注目すると、似通った傾向も見て取れた。リーダーはメンバー全体に発言を促そうとするが、それは通常なかなか成功しない。そうしたなかで、リーダーは前回発言した個別メンバーと応酬を続ける傾向が見られたのである。教員である報告者はリーダーの役割として、メンバー間の相互作用を促進する重要性を事前に伝えていたものの、実際にはリーダー役の受講生には困難な課題であり、一対一のやりとりになりがちであったことを意味する。

またコリーダーはリーダーによる発言の促しというきっかけがなければ、基本的には発言を控える傾向があることもデータから理解された。個別メンバーとの一対一のやりとりで陥らずに済んだリーダーチームのデータを見ると、会話の停滞時にリーダーがコリーダーに発言を促し、リーダーチームで一旦会話を続けた例が複数存在していた。

### 5. 考察

本演習は、経験の少ない1年生を対象としたものである。リーダー役にとってメンバー全体に働きかけることは容易な課題ではないが、コリーダーとの間で会話を回すことが、まずは初学者にとっても取り組みやすい助言となりうることでデータから理解される。

#### 参考文献

Antaki, C. (2011) Six Kinds of Applied Conversation Analysis. In C. Antaki (Ed.), *Applied Conversation Analysis*. Palgrave Macmillan.

樫田美雄他編 (2018)『医療者教育のビデオ・エスノグラフィー——若い学生・スタッフのコミュニケーション能力を育む』晃洋書房

米田憲市 (2013)「臨床法学教育場面のビデオ・エスノグラフィー」『鹿児島大学法学論集』第47巻(2) 225-230.